

宇治市議会6月定例会（6月6日～8日）の一

般質問で、市教育長は、小学校給食の提供のありかたについて検討委員会を立ち上げ、来月末までに考え方を取りまとめる答弁しました。

現在、宇治市内の小学（以下「市教委」）はこれまで、

校給食は、三室戸小で調理した給食を配達しています。

山間地域の笠取、笠取第二の小学校を除き、02年の小学校では、自校で調理した給食が児童に提供されています。

市教育委員会（

中学校給食のセンター用地を旧・宇治少年院跡地に確保し、2026年度の早期に実施していくとしてきました。

小学校の自校調理の給食をセンター方式を検討に

現在、市教委は、西小倉地域の3小（西小倉、北小倉、南小倉）と1中（西小倉中）の統廃合計画を進め、西宇治中に新たに小中一貫校を建設する計画を進めています。

これまで、共産党議員が、小中一貫校計画のなかで、小学校も中学校も自校調理の給食をと繰返し質問してきました。市教育委は、「検討中」と答

弁し、はつきりとした考え方を示しませんでした。

小中一貫校の保護者、地元市民との意見交換会でも複数の参加者から「自校方式で中学校でも」と意見が出されています。

70年以上続いてきた自校調理の学校給食乱暴な方針転換は許されません

四季や折々の行事に応じてきめ細かく工夫された安心で温い市の給食は、全国で高い評価を得てきました。

求められた署名が、わずか2週間の間に1600筆も集まりなど、給食に対する強

い要望の声が上がっています。

ところが市教委は、中学校給食のセンター方式による提供事業計画が進むなか、急きよ、西小倉地域の小中一貫校にとどまらず、自校で調理されている市内すべての小学校給食を、新たに設置するセンタードで調理することを検討すると方針の転



換を示しました。

センター方式での検討理由について教育長

は、「市内の児童・生徒数は減少傾向が続くこと見込まれること」、「各小学校の給食室の老朽化がすみ、その施設整備に多額の費用と時間を要すること」、「今後、学識経験者等で構成する検討委員会を設置し」、「給食センターの活用とともに、将来的な市の小学校給食提供のあり方にについて考えたい」「7月末をめどに取りまとめて」と、一般質問の答弁で明かにしました。

議員団だより
2022年6月19日号
Tel : 21 - 3142
Fax : 24 - 7884



ご意見を！

